

平成17年度文部科学省教員養成 GP 事業

## 第4回協働の場プロジェクト・フォーラムを開催

日時:6月17日(土)午後1時~午後6時 場所:関西大学千里山キャンパス「岩崎記念館」  
~国内外の英語教育の専門家がワークショップや講演で英語習得の実践的授業のあり方を披露~

関西大学英語教育連環センター(e-LINC)では、6月17日(土)午後1時から関西大学千里山キャンパス「岩崎記念館」で、国内外の英語教育の専門家による英語習得の実践的授業のあり方を紹介する「第4回協働の場プロジェクト・フォーラム」を開催します。

フォーラム当日は、現職の英語教員を中心に大学院生や一般の方など70~80人の参加を予定しています。

今回は、第二母国語としての英語習得について研究・実践されているジーン・カーシェンマン・ハワイパシフィック大学助教授を招き、「3Rアプローチによる挑戦」(Addressing Classroom Challenges with a 3R Approach: *Reflect* (振り返り), *Reach all students* (全ての生徒に届く教え方), *Rely on others* (仲間との協力))と題した講演が行われます。ルーマニアや中国などで実際に教えてこられた経験をもとに、特に早期英語教育のあり方を実習などもまじえながら話していただきます。

また、山岡憲史・立命館大学教授を講師に迎え、受験英語とコミュニケーションで使われる英語の融合をテーマにした講演「骨太のコミュニケーション能力を育てるために大切なこと」が行われます。平成14年度に文部科学省スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(SELHi セルハイ)の第一期指定校となった滋賀県立米原高等学校で3年間にわたり実際に教鞭をとってきた経験に基づき、授業の改革について語っていただきます。

この他、協働の場プロジェクトの活動報告として、当センターと協働で英語教育のあり方を研究・実践している枚方市立津田中学校、京都市立京都御池中学校、箕面市立第二中学校での英語授業の取り組みなどが紹介されます。

協働の場プロジェクト・フォーラムは、平成17年度文部科学省「大学・大学院における教員養成推進プログラム(教員養成GP)」に採択された「学びのネットワークと英語教員養成 現職教員・大学院生・地域の学校を巻き込んだ『連環型』教員養成プログラムの展開」として、昨年12月より開催しています。

なお、このフォーラムで実施されるワークショップへの参加や取材などのご希望がございましたら、下記までお問い合わせください。

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 鶴丸、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>

## 第4回協働の場プロジェクト・フォーラム 開催概要

---

日 時：2006年6月17日(土) 午後1時~午後6時

場 所：関西大学千里山キャンパス「岩崎記念館」4階多目的ホール1

( 阪急千里線「関大前」駅北出口(北千里側)から徒歩約7分)

参加者：中学校・高等学校の英語教員など約80名

### <内 容>

ワークショップ(13:15~14:45)

**「3Rアプローチによる挑戦」(Addressing Classroom Challenges with a 3R Approach: Reflect, Reach all students, Rely on others.)**

**講師: ジーン・カーシェンマン・ハワイパシフィック大学助教授**

ジーン・カーシェンマン (Jean Kirschenmann) 氏について

ハワイパシフィック大学ESL助教授(Hawaii Pacific University, Assistant Professor in ESL( )。ハワイ大学でTESLの修士学位を取得後、ハワイ、ミクロネシア、ルーマニア、中国、そして日本などで、幼稚園から大学院までの英語学習者に対して教鞭をとってきた。現在、ハワイパシフィック大学でESLおよびTESL( )両方のコースで助教授として教えている。これまで6年間ハワイパシフィック大学で徹底した英語プログラムのコーディネーターもおこなった。今年、ハワイパシフィック大学からさらに活躍の場を日本に広げ、白鷗大学(栃木県小山市)や白鷗大学足利高校(栃木県足利市 SELHi 選定高校)で英語を教えるとともに、英語科目のカリキュラムの発展にも尽力している。

ESL(English as a Second Language)とは、第二母国語としての英語習得クラス

TESL(Teaching English as a Second Language)とは、第二言語としての英語教授法

協働の場 各プロジェクトの進捗報告(15:00~16:00)

・枚方市立津田中学校「生徒の自己表現につなげる音読活動の取り組み」

発表者 : 名部井敏代 (e-LINC 研究員)

・京都市立京都御池中学校「コーパスを利用した語彙学習環境改善への取り組み」

発表者 : 名部井敏代 (e-LINC 研究員) 杉田麻哉 (外国語教育学研究科 博士課程後期課程)

・箕面市立第二中学校「基礎学力をつけるための5分間アクティビティーの模索」

発表者 : 山根 繁 (e-LINC 研究員)、戸澤景子 (外国語教育学研究科 博士課程前期課程)

講演(16:15~17:45)

**「骨太のコミュニケーション能力を育てるために大切なこと: 受験とコミュニケーションの dichotomy を打ち破る」**

**講師: 山岡憲史(立命館大学 大学教育開発・支援センター教授)**

山岡憲史(やまおか・けんじ)氏について

立命館大学 大学教育開発・支援センター教授。1978年3月神戸市外国語大学外国語学部英米学科卒業。滋賀県内の複数の高等学校で英語教諭として勤務する傍ら、文部科学省教科書検定調査委員、京都外国語大学短期大学部 Basic Grammar 講師、中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会外国語部会委員などを歴任。2002年4月~2005年3月文部科学省スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(SELHi)第一期指定校・滋賀県立米原高等学校における研究主任。2005年3月「英語が使える日本人」の育成のためのフォーラム2005における模擬授業で高い評価を得る。2005年4月から現職。2005年7月「第54回読売教育賞」外国語教育部門最優秀賞を受賞。大修館書店『基本単語徹底活用 英語のクロスワード 101』、大修館書店『ジーニアス英和辞典 第2版』(分担編集)、三省堂『ニューセンチュリー和英辞典 初版・第2版』(分担編集)、大修館書店 文部省検定教科書 Departure Oral Communication I (分担編集)、大修館書店『オーラル・コミュニケーション ハンドブック』(分担編集)など著書多数